

第3学年松組 「重さをはかろう」(算数科)略案

指導者 阿部麻衣子(TA) 佐々木智子(TT) 佐々木由香里(TY)

1 本時のねらい 学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる。

2 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	TA, TYの支援	TTの支援	センターの先生の支援
9:20	1. 課題を把握する。 いろいろな重さの問題をところ。 - メモリの読み方 $1\text{ kg} = 1000\text{ g}$	- 問題を提示する。 - 重さの学習を確認する。	学習を想起できるようにカードを提示する。	(教室の後ろ側から授業を見る。) 児童の様子を観察する。
9:25	2. 問題を解く - じっくりコース(基本) - もりもりコース(応用) - チャレンジコース(発展)	- コース選択の助言をする。 - じっくりコース - はかりの読み方 $1\text{ kg} = 1000\text{ g}$ - 重さの加法性 - これまでの学習をもとに計画的に支援する。	- コース選択の助言をする。 - もりもりコース - 単位換算 $\text{g} \rightarrow \text{kg}$, $\text{kg} \rightarrow \text{g}$ - 加法計算	(KRで支援する) チャレンジコース - もりもりコースが終わった子に対応する。生活に密着した問題を提示する。 - 解き方を聞いて数学的な考え方を伸ばす。
10:00	4. 学習を振り返る。	振り返りを机間指導し、発表者を選ぶ。	振り返りを机間指導し、発表者を選ぶ。	感想や助言を話す。